

**LifeKeeper for Linux v9.3 /
Single Server Protection for Linux v9.3**
テクニカルアップデートインフォメーション

第 1 版



サイオステクノロジー株式会社

目次

| | | |
|----|---|---|
| 1. | はじめに | 4 |
| 2. | LifeKeeper for Linux v9.3 の新機能・機能変更 | 4 |
| 3. | LifeKeeper for Linux v9.3 の新規サポート OS・ソフトウェア | 4 |
| 4. | Single Server Protection v9.3 の新機能・機能変更 | 5 |
| 5. | Single Server Protection v9.3 の新規サポート OS・ソフトウェア | 5 |
| 6. | お問い合わせ | 6 |
| 7. | 免責事項 | 6 |
| 8. | 著作権 | 6 |

改訂履歴

| 日付 | バージョン | 変更情報 |
|----------|-------|------|
| 2018/8/8 | 001 | 新規作成 |

1. はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v9.3 / Single Server Protection for Linux v9.3 の新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Linux v9.3 の新機能・機能変更

- Quorum Witness 機能に storage モードを追加しました。
 - Quorum Witness 機能は、フェイルオーバー時に各ノードが起動すべきか否かをより高い信頼度で判定するための仕組みで、今回追加された storage モードでは、共有ストレージを介してこの判定を実施します。
 - この共有ストレージには、物理ストレージ、RDM、iSCSI、VMDK、NFS、Amazon S3 を利用することができます。
- インストールスクリプトを刷新しました。
 - Linux の標準的なメニュー構成になりました。
 - config ファイルを利用した非対話 (Non-interactive) インストールができるようになりました。
- Recovery Kit for EC2 と Route53 Recovery Kit が、HTTP プロキシに対応しました。
 - これにより、プロキシサーバーを使用して AWS にアクセスできるようになります。

3. LifeKeeper for Linux v9.3 の新規サポート OS・ソフトウェア

新規にサポートされた OS、ソフトウェアは以下の通りです。

[サポート OS の追加]

- Red Hat Enterprise Linux 7.5 (※)
- Oracle Linux 7.5 (※)
- CentOS 7.5 (※)

※ カーネルの問題により、データレプリケーション構成における非同期モードはサポートされません。

[サポート対象ソフトウェアの追加]

- 新規にサポート対象に追加されたソフトウェアはありません。

4. Single Server Protection v9.3 の新機能・機能変更

- インストールスクリプトを刷新しました。
 - Linux の標準的なメニュー構成になりました。
 - Config ファイルを利用した非対話 (Non-interactive) インストールができるようになりました。

5. Single Server Protection v9.3 の新規サポート OS・ソフトウェア

新規にサポートされた OS、ソフトウェアは以下の通りです。

[サポート OS の追加]

- Red Hat Enterprise Linux 7.5
- Oracle Linux 7.5
- CentOS 7.5

[サポート対象ソフトウェアの追加]

- 新規にサポート対象に追加されたソフトウェアはありません。

6. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

7. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

8. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。